

ガボン共和国月報（2014年7月）

2014年7月号
在ガボン日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 新石油法の成立
- 2014年修正予算の成立
- 公務員に対する優遇手当の支払い開始
- 2016年大統領選挙に向けた野党連合「野党統一戦線」の結成

【外政】

- 中国共産党全国代表大会幹部によるオナ・オンド首相表敬
- アラブ首長国連邦大統領のアリ・ボンゴ大統領との会談
- ガボン政府及びアフリカ開発銀行による借款協定署名
- ガボンによる「租税に関する相互行政支援に関する条約」署名（OECD）

【経済】

- 2013年対ガボン外国直接投資額約8億5600万米ドル
- アリ・ボンゴ大統領によるポールジャンティ及びオンブエ訪問
- 2014年GDP予測成長率5.1%
- 深海鉱区入札結果の公表
- パリ商工会議所によるガボン商工会議所の機能強化・人材育成協力

【内政】

1 新石油法の成立

14日、6月27日に閣議決定された新石油法案が上院において可決され成立した。同法には、天然資源に対する国家主権及び右資源に係る情報の国家への帰属を確認し、同法の規定を遵守しない企業に対しては制裁を課す等の内容が盛り込まれている。今夏に大統領令が発令された後に同法は適用開始となる。（PR7/23）

2 2014年修正予算の成立

15日、2014年修正予算案が上院において可決され、本年修正予算2兆9546億CFAフラン（45億ユーロ相当）が成立した。政府発表当初予算に比べ、アリ・ボンゴ大統領が推進する「台頭するガボン戦略計画」（PSGE）の中心となる「国家インフラ整備計画」（SDNI）の大型インフラプロジェクト及び社会協定等の社会・経済政策に係る予算が拡充され、他方、公務員活動費等の公共支出は大幅に削減された。（UN7/15）

3 公務員に対する優遇手当の支払い開始

16日、30,667人の公務員に対し、2014年第二四半期の勤勉手当として、国庫

から合計約195億フランCFA（2900万ユーロ相当）が1カ月程遅れて支払われた。右手当は、有能な公務員の評価、成果主義の促進及び公共サービスの生産性の評価等を狙い、アリ・ボンゴ大統領が導入した制度である。（UN7/17）

4 2016年大統領選挙に向けた野党連合「野党統一戦線」の結成

19日、首都リーブルビル市内ンチョコレ中学校において、2016年の大統領選挙に向けてジャン・ピン前AU委員長を始めとする14名の著名な政治家が「野党統一戦線」を結成し、2009年から続くアリ・ボンゴ現政権の政策を根本から見直し、次回大統領選挙における政権交代の必要性を強く訴えた。（UN7/18）

【外政】

1 ガボンによる障害者権利条約の正式批准（国連）

1日、ガボンによる障害者権利条約の批准が国連において正式に確認された。（UN7/23）

2 中国共産党全国代表大会幹部によるオナ・オンド首相表敬

2日、ドウ・シュファ中国共産党全国代表大会幹部を団長とする委員代表団がオナ・オンド首相を表敬し、特にガボンでのインフラ分野における中国の貢献につき意見交換を行い、二国間関係の更なる強化について協議を行った。（UN7/3）

3 アラブ首長国連邦大統領のアリ・ボンゴ大統領との会談

6日、ハリーファ・ビン・ザイド・ビン・スルターン・ナヒヤーン・アラブ首長国連邦大統領（アブダビ首長国首長）は、ガボン大統領府にてアリ・ボンゴ大統領と会談し、ガボン情勢の安定性を評価し、同国に対する投資について高い関心を表した。（UN7/7）

4 ガボン政府及びアフリカ開発銀行による借款協定署名

アカガ・ンバ経済・経済計画大臣は、ゼヌ・アフリカ開発銀行（AfDB）当地代表との間で、ガボン南部のコンゴ（共）国境付近に位置するンデンデードウサラ間道路（49km）舗装工事实施のため借款協定に署名した。右により、本件プロジェクト総費用660億CFAフラン（約1億ユーロ相当）の78.70%に当たる525億CFAフランをAfDB供与の本借款で融資し、残りをガボン政府が負担する。（UN7/12-13）

5 ガボンによる「租税に関する相互行政支援に関する条約」署名（OECD）

OECD加盟国であるガボンは、「租税に関する相互行政支援に関する条約」に署名し、世界で66カ国目及びアフリカで7カ国目の署名国となった。この条約により、各国税務当局との相互行政支援ネットワークが拡充され、国際的な脱税及び租税回避行為に対して、より適切に対処できるようになることが期待される。（UN7/18）

【経済】

1 2013年対ガボン外国直接投資額約8億5600万米ドル

国連貿易開発会議（UNCTAD）が6月に発行した報告書は、2013年のガボンへの外国直接投資額が、2012年に比べ23%増加し、約8億5600万米ドルに上った旨発表した。（PR7/2）

2 アリ・ボンゴ大統領によるポールジャンティ及びオンブエ訪問

3日、ポールジャンティ及びオンブエを訪問中のアリ・ボンゴ大統領は、不動産公社(SNI)が手がける住宅827戸、ビル10棟及び集合住宅140棟の建設現場を訪れた。また、ボンゴ大統領は、中国輸出入銀行が総費用の95%を融資しているポールジャンティーオンブエ間(93km)道路建設計画の工事現場も訪問した。(PR7/3)

3 ガボン政府及びSiat Gabon社による租税・関税優遇協定の署名

3日、アカガ・ンバ経済相は、Siat Gabon社(ベルギーに本社を置く農業企業)社長との間で、租税及び関税優遇協定に署名した。(UN7/5)

4 ガボン政府及び世銀当地事務所との「ワンストップ起業窓口」設置に関する協議開催

7日、アカガ・ンバ経済相は、世銀当地代表との間で、国内における起業手続きの48時間内の完了を目指し、「ワンストップ起業窓口」設置に係る協議を行った。(UN7/8)

5 2014年GDP予測成長率5.1%

17日、BEAC(中部アフリカ諸国銀行)の通貨・金融委員会は、2014年のGDP成長率を5.1%と予測した。2013年の5.6%から低下している理由として、2014年第一四半期における石油生産量の低下を挙げている。(UN7/22)

6 深海鉱区入札結果の公表

22-23日、首都リーブルビル市内で開催された政府主催記者会見において、ングブ石油・炭化水素大臣は、昨年10月28-30日に実施された第10回深海鉱区入札の結果を発表した。今次入札の結果、8つの鉱区の探査・開発・生産に係る優先交渉権が石油企業に付与された。また、同大臣は、新たに、ンジエンブ鉱区内においてイゴゴ油田(ングニエ州)及びニヨニエ(エスチュエール州)においてガス・コンデンセート層を発見した旨発表した。(UN7/24)

7 パリ商工会議所によるガボン商工会議所の機能強化・人材育成協力

24日、当地訪問中のパリ商工会議所代表団は、ガボン商工会議所の機能強化・人材育成を目指すプロジェクトに対して、AFD(フランス開発庁)を通じて、約1億9600万CFAフラン(30万ユーロ相当)を融資する旨発表した。(UN7/25)

8 ガボン・テレコム社による上半期業務成績の発表

ガボン・テレコム社は上半期の業務成績を発表し、右期間の売り上げは約478億CFAフランに上った。(UN7/31)

9 米石油企業による石油開発再開

米石油企業であるハーヴェスト・ナチュラル・リソース社は、ガボン国内のデュサフ・マリン鉱区の開発に再び乗り出す旨発表した。(UN7/31)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙)